

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 5 年 1 月 28日

公表:令和 5 年 2 月 21日

事業所名 放課後等デイサービスあお

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	改善や改善すべき点を踏まえ 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100.0%	0.0%	利用児童の通所人数や年齢等によるグループ化と いった工夫を行なっています。	
	2 職員の配置数は適切である	100.0%	0.0%		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100.0%	0.0%		和室と居間の段差について今後解消する事が出来るように検討 しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100.0%	0.0%	これまで時間でお茶を提供していましたがウオー ターサーバーを設置する事でお子様のタイミングで 清潔な水を摂取する事が出来ています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100.0%	0.0%		
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100.0%	0.0%	評価表で頂いたご意見を次年度の業務改善へ向 けた取り組みを行っています。	貴重な意見を頂くことが出来るよう3か月1度にアンケートの実施 や意見交換を行ない、より良いプログラムや環境構成に努めま す。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100.0%	0.0%	FacebookやInstagram、HPからアクセスする事で 閲覧が可能となっています。	HPの更新が遅滞してしまっている為、業務改善として繋げていま す。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100.0%	0.0%		今後、検討させていただきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100.0%	0.0%	現状では、オンライン等の研修に積極的に参加し、 職員のスキル向上を努めています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100.0%	0.0%	随時状況に応じて保護者との情報共有を行ない、 課題に即した内容の計画を作成しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100.0%	0.0%		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100.0%	0.0%		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100.0%	0.0%		
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	100.0%	0.0%		
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100.0%	0.0%	一人一人のお子様が多様な体験を通して視野を 広げる事が出来るようなプログラム構成を努めて います。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100.0%	0.0%		
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100.0%	0.0%	ミーティングの時間をしっかりと確保し、一日のプロ グラム内容や担当等について確認を行なっていま す。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100.0%	0.0%	支援内容だけではなく、保護者や学校、保育所等 での引き継ぎを共有し、適切な支援が出来ている のかを確認しています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100.0%	0.0%	記録を残す場合は手書きではなく、PCやタブレット 等からの記録を取ることが出来、支援方法の改善 や見直し、時間の確保等に繋がる事でプログラ ムの改善へと繋がっています。	各利用者の活動中の動画等を用いて記録を残すことで一つの情 報とし、より詳しく把握する事が出来るので記録について現在検 討しています。
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100.0%	0.0%	必要に応じてその都度課題の整理を行ない、課題 に向けた取り組みや適切な支援についての見直し を図ります。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100.0%	0.0%	原則として児童発達支援管理責任者が参加していますが、場合によっては担当指導員の同席を行なって情報提供をしています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100.0%	0.0%	必要に応じて各関係機関との情報共有を行ない、統一した支援が行う事が出来るよう努めています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				現在対象となる児童が在籍しておりませんので回答できませんが、必要があった際には各関係機関との連携を図り、利用児童が安心してできるよう配慮させていただきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100.0%	0.0%	課題や提供内容の情報共有を行ない、統一した支援をする事が出来るよう努めています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100.0%	0.0%	必要に応じて課題や提供内容の情報共有を行ない、統一した支援をする事が出来るよう努めています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100.0%	0.0%	市内や苦通連の研修には積極的に参加を行っています。又、インターネットに上がっている研修を目標とし、適している研修であれば参加をしています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	100.0%	0.0%		コロナ禍により感染防止等の理由によって交流の機会は減少しています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0.0%	100.0%		機会があれば参加させていただきたいと思っています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	100.0%	0.0%	コモン[アプリ:連絡帳]を導入し、写真や文章等により日頃の様子に関しては共有する事が出来ています。気になることがあった際には送迎や電話等で随時共有を行なっています。	今後の改善として日頃の様子をより知って頂くためのツールを検討しています。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	100.0%	0.0%		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100.0%	0.0%	見学や契約時に説明を行なっています。又活動内容によっては利用者負担がある場合には、連絡帳や連絡等により対応をしています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100.0%	0.0%		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100.0%	0.0%		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100.0%	0.0%	道内/市内でのコロナ感染者の状態に応じてですが、親子クッキングや保護者交流会等を開催して交流となっています。	父母の会の設置を行い、保護者様の連携を図ることが出来るような体制を検討しております。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100.0%	0.0%	相談/苦情があった際には、迅速な対応をする事が出来るよう取り組んでいます。事故報告[インシデント・アクシデント・ひやりはっと]や相談/苦情解決報告をまとめ、職員間での情報共有を図る事で、解決、再発防止に繋げています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100.0%	0.0%	月2回会報の発行や連絡帳アプリを使用して必要に応じて連絡・イベント内容についての配信を行なっています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100.0%	0.0%	個人情報使用承諾書に記載されている事項を説明し、了承を得ている事項のみの使用。又は記載されていない事項に関しては、必ず保護者への情報開示についての説明を行ない、同意を得てからの使用となります。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100.0%	0.0%		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100.0%	0.0%	他施設との交流やイベントがある際には、事業所職員及び利用児童以外の方が参加して交流をしています。	コロナ禍により感染防止等の理由によって交流の機会は減少しています。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100.0%	0.0%		マニュアルの再審査や随時保護者への周知を努めます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100.0%	0.0%	年2回以上は、災害を想定した避難訓練を行っています。	火災、地震の災害に加え、不審者等の対応訓練を行なう事を検討しています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100.0%	0.0%		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100.0%	0.0%	医師からの指示書及び保護者の聞き取りによって対応方法を検討しています。又様々な資料や教育機関等で使用されているガイドラインを参照して判断をしています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100.0%	0.0%	ヒヤリハット、インシデント、アクシデント報告書の作成を行ない、職員との情報共有や再発防止に繋ぐ事が出来るよう努めています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100.0%	0.0%	虐待防止委員会での情報共有や虐待に関する研修があった際には積極的に参加し、職員のスキルアップを図っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100.0%	0.0%	生命の危険等の危険性がある場合に限り、身体拘束を行なう事に対して保護者への説明と同意書への署名を頂いています。	

